

平成20年度 事業報告書

学校法人熊本城北学園

平成 20 年度事業報告

法人の概要

1. 大学の組織

(1) 学部・学科等

看護福祉学部

看護学科 (定員100名)

助産師養成課程 (内10名)

社会福祉学科 (定員200名)

介護福祉士養成コース (内40名)

リハビリテーション学科理学療法専攻 (定員60名)

(2) 大学院

看護福祉学研究所

看護学専攻 (定員12名)

基礎看護学分野

臨床看護学分野

老年看護学分野

地域看護学分野

精神保健学専攻 (定員12名)

発達精神保健学分野

社会精神保健学分野

2. 学生数等の状況

	平成19年度					平成20年度				
	1年	2年	3年	4年	合計	1年	2年	3年	4年	合計
看護学科	146	119	138	135	538	140	144	120	142	546
社会福祉学科	171	213	226	206	816	120	160	209	230	719
リハビリテーション学科	84	77	-	-	161	82	81	74	-	237
小計	401	409	364	341	1,515	342	385	403	372	1,502
看護学専攻	6	10	-	-	16	11	9	-	-	20
精神保健学専攻	8	16	-	-	24	4	13	-	-	17
小計	14	26	-	-	40	15	22	-	-	37
合計	415	435	364	341	1,555	357	407	403	372	1,539

平成20年度入学生の出身県別状況

* 大検受験者はその他で集計

		九州圏				その他	計
		熊本県	福岡県	その他	計		
入学者	看護学科	44	26	60	130	10	140
	社会福祉学科	54	24	40	118	2	120
	リハビリテーション学科	28	10	39	77	5	82
	計	126 (36.8%)	60 (17.5%)	139 (40.6%)	325 (95.0%)	17 (5.0%)	342
志願者	看護学科	220	185	339	744	58	802
	社会福祉学科	78	44	62	184	9	193
	リハビリ学科	96	49	127	272	26	298
	計	394 (30.5%)	278 (21.5%)	528 (40.8%)	1,200 (92.8%)	93 (7.2%)	1,293

3. 役員・教職員の概要等

(1) 役員・評議員数

		選任条項	平成20年4月現在	平成21年3月現在
理事	1号	学長	1	1
	2号	副学長1人以内	1	1
	3号	評議員選任(5-7人)	7	7
	4号	学識経験者(3-5人)	5	5
	合計		14	14
監事(2人)			2	2
評議員	1号	学長	1	1
	2号	副学長1人以内	1	1
	3号	法人職員(3-4人)	4	4
	4号	本学卒業者(1-2人)	1	1
	5号	学識経験者(24-26人)	25	26
	合計		32	33

(2) 教員総数(平成20年度5月)

	現員				
	総数	教授	准教授	講師	助教・助手
看護学科	31	9	10	6	6
社会福祉学科	34	9	11	10	4
リハビリテーション学科	13	4	3	3	3
合計	78	22	24	19	13

(3) 平成20年度の新規採用者

	教授	准教授	講師	助教・助手
看護学科	1	0	0	3
社会福祉学科	0	0	0	0
リハビリテーション学科	2	0	1	0
合計	3	0	1	3

(4) 平成20年度未退職者

	教授	准教授	講師	助教・助手
看護学科	0	0	0	0
社会福祉学科	1	1	0	1
リハビリテーション学科	0	0	0	1
合計	1	1	0	2

(5) 職員(平成20年度末)

総数	局長	部長	課長等	係長	課員	臨時職員 契約職員
34	1	0	7	2	8	16

事業の概要

1. 当該年度の事業の概要

(1) 学校教育法第109条に基づく認証評価機関による評価

認証評価機関を財団法人日本高等教育評価機構とし、認証評価機関が定める11基準に則った自己点検・自己評価報告書及び関係書類を6月末に提出。11月25日(火)～27日(木)の現地調査を経て、平成21年3月27日付で「本機構が定める大学評価基準を満たしている」と認定された。

認定期間は平成20年4月1日～平成27年3月31日

(2) 国際交流

(イ) 韓国の又石大学との交流

平成20年4月15日、本学と韓国^{ぜんしゅうし}全州市にある又石大学^{ウースク}との間に、両大学間の交流を目的に「短期留学生の受入れに関する覚書」を締結した。本学から又石大学への短期研修及び又石大学から本学への短期留学の募集を行ったが、今年度は応募者がなく実現に至らなかった。

(ロ) 米国アイオワ州クラリダ市のI.W.C.C (Iowa Western Community College)との交流

平成19年6月に、米国クラリダ市でI.W.C.Cと締結した交流覚書に基づき、本学から短期研修留学生を派遣すべく、研修プログラムの調整を行っている。

(3) 平成21年度入試における志願者増に向けての取り組み

(イ) 九州各県及び九州以外の県における高等学校訪問

昨年度に引き続き、九州各県に担当者を配置し、学生募集を目的とした高等学校訪問を精力的に行った。九州各県の654校を対象に、1校平均4回弱、延べ2,529校を訪問し、入学試験を中心に情報提供を行った。

(平成19年度の九州地区高等学校訪問数は2,321校)

(ロ) メディア広告を利用した広報

私立大学連合広告を中心に13回程度新聞へ掲出した他、受験生向け進学雑誌やネットを利用した進学情報サイト等へ14回程度掲出を行った。また、受験生向けの最大のイベントであるオープンキャンパスの参加動員拡大のため、JR及び西鉄電車内に中吊り広告を実施した。

(ハ) 大学説明会の充実

高等学校教員を対象とした大学説明会を九州全県12地区で実施し、143校1,500名の参加があった。また、高校生を対象とした大学説明会及び他大学との合同進学相談会等に年間120回程度参加し、約1,500名の参加があった。

(ニ) 学生募集推進会議の設置

上記の取り組みを効果的に実行するため、事務局長を中心とした学生募集推進会議を設置した。高等学校訪問の年間計画策定を始めとする平成20年度の学生募集方針を検討し、効果的・効率的な実行に努めた。

(その他)

内柴正人氏との非常勤職員の雇用契約を締結。内柴氏がマスコミ等で本学との雇用契約をアピールすることによって知名度アップを図っている。

(4) 高等教育コンソーシアム熊本が実施する事業への参画

平成 21 年 4 月より実施される教員免許状更新講習事業について本学も参画。事業実施のためのコンピュータシステムの開発や実施マニュアルの作成など、事業の円滑な運営に協力した。また、生涯教育事業部会の部会長大学として、コンソーシアム熊本の活動の一翼を担っている。

(5) 財務計画

大学全入時代を迎え、高等教育を取り巻く環境は一層厳しさを増している。このような状況下、本学でも、社会福祉学科の入学人数が減少したものの、全学生数は収容定員を確保することができている。また、私立大学等経常費補助金については前年度と比し減額となった。これは、配分基準の見直しや、昨年度より開始した事業の初期投資額に交付された補助金の減が主な要因である。外部資金の獲得状況を見ると、科学研究費補助金において若干の減額となっており、引き続き更なる獲得方策を実施していく必要がある。

支出については、人件費が増額となっているが、これは、過年度分の退職給与引当金を繰り入れた事が主な要因である。教育研究経費の減額は、補助金対象事業で、昨年度より開始した履修促進システムの初期投資額の減が主な要因である。

(6) 将来構想委員会からの報告に基づく検討

将来構想検討委員会からの報告を受け、学内で審議検討を行い、社会福祉学科の入学定員を減じ、新学科（鍼灸スポーツ学科、口腔保健学科）を平成 22 年 4 月の設置を目指し、文部科学省と事前相談を行っており、平成 21 年 6 月末に設置届出書の提出及び 7 月末のはり師きゅう師、歯科衛生士養成学校の指定申請書を提出する予定。

(7) 学生表彰

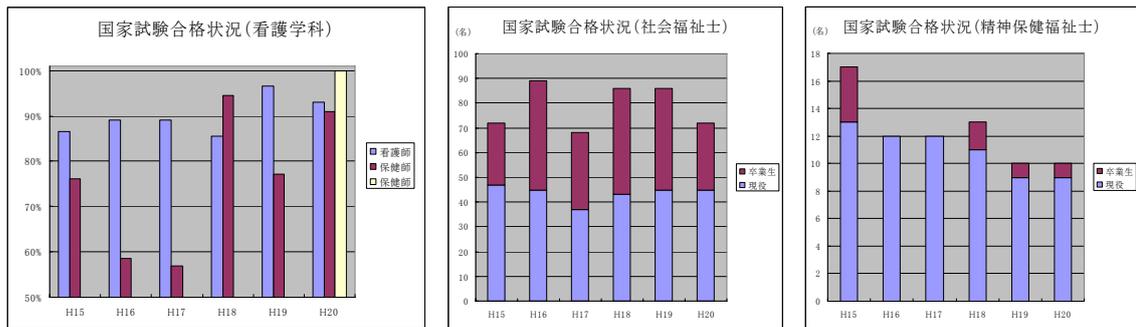
毎年の継続事業として、学長賞、理事長賞、功労賞など、学生が行った教育研究活動やサークル活動の中から特に優秀な成績を収めた者、団体を表彰。

区分	氏名・団体
学長賞	(個人) 看護学科 4年 <small>さいとう まいこ</small> 齊藤 麻衣子
	(個人) 社会福祉学科 4年 <small>はしもと あずさ</small> 橋本 梓
理事長賞	(団体) 短艇訓練部
功労賞	(団体) ピアカウンセリングサークル
	(団体) ボランティアサークル
	(個人) リハビリテーション学科 1年 <small>こんどう たいすけ</small> 近藤 大翼 (サッカー部)

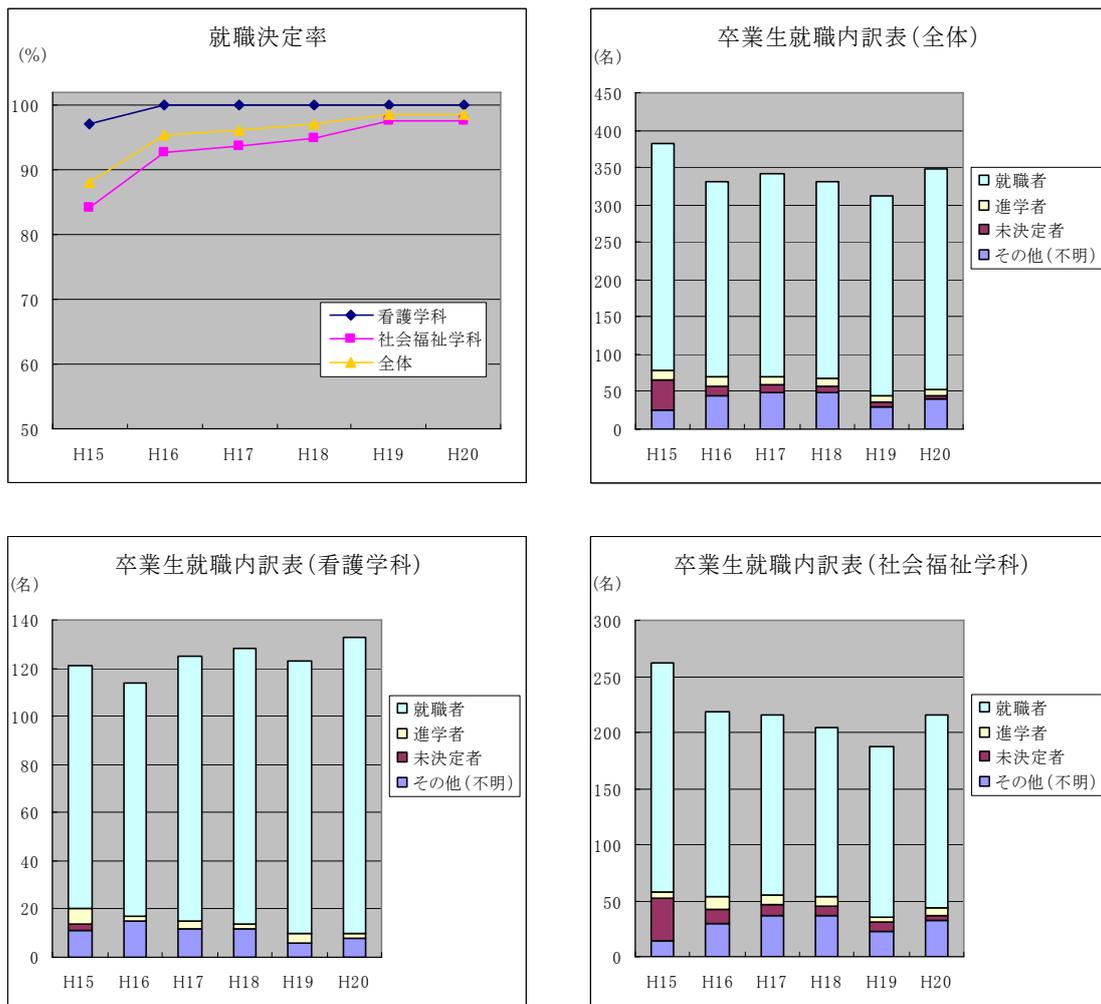
2. 国家試験合格状況、就職状況

18歳人口の減少、看護・社会福祉・リハビリテーション関係学部・学科等が新たに設置される厳しい状況の下、学生を確保し、財政を安定させることが大きな課題である。学生確保のための方策には、大学の存在を示す広報活動はもとより、より良い教育を行うこと、国家試験の合格率を上げること、就職状況を改善・向上させることにある。以下に、それぞれの状況を示す。

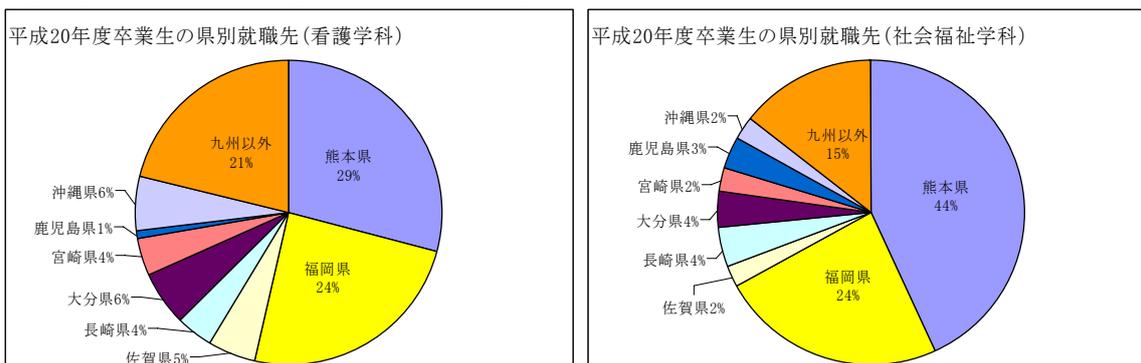
(1) 国家試験の状況(過去6年分)



(2) 就職状況集計結果(過去6年分)



(3) 卒業生就職先(学科別・地区別)



財務状況

貸借対照表

(単位:千円)

科 目	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	科 目	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
固定資産	5,195,904	4,999,800	4,884,223	固定負債	20,315	25,301	128,718
有形固定資産	4,554,238	4,357,235	4,139,402	流動負債	648,144	625,010	578,524
その他の固定資産	641,666	642,565	744,821	負債の部合計	668,459	650,311	707,242
流動資産	3,438,879	3,850,299	4,132,468	第1号基本金	6,431,758	6,474,790	6,497,587
				第4号基本金	85,000	111,000	111,000
				基本金の部合計	6,516,758	6,585,790	6,608,587
				消費収支差額の部合計	1,449,566	1,613,998	1,700,862
資産の部合計	8,634,783	8,850,099	9,016,691	負債の部、基本金の部 及び消費収支差額の部合計	8,634,783	8,850,099	9,016,691

消費収支計算書

(単位:千円)

消費収入の部	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	消費支出の部	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
学生生徒等納付金	1,633,881	1,700,777	1,701,558	人件費	930,603	975,957	1,111,508
手数料	49,904	42,190	34,536	教育研究経費	499,846	562,017	550,555
寄付金	2,519	1,704	4,643	(減価償却額)	(191,339)	(208,474)	(209,327)
補助金	114,255	169,916	157,674	管理経費	165,381	178,064	166,492
資産運用収入	7,268	16,247	21,319	(減価償却額)	(27,714)	(31,561)	(31,781)
資産売却差額	262	0	0	資産処分差額	620	0	325
事業収入	1,991	2,941	3,191	徴収不能引当金繰入額 (又は徴収不能額)	1,817	2,165	0
雑収入	20,260	17,892	15,620	消費支出の部合計	1,598,267	1,718,203	1,828,880
帰属収入合計	1,830,340	1,951,667	1,938,541	当年度消費収支超過額	708,074	164,432	86,864
基本金組入額合計	940,147	69,032	22,797	前年度繰越消費収入超過額	2,157,640	1,449,566	1,613,998
消費収入の部合計	890,193	1,882,635	1,915,744	翌年度繰越消費収入超過額	1,449,566	1,613,998	1,700,862

資金収支計算書

(単位：千円)

収入の部	平成18年度	平成19年度	平成20年度	支出の部	平成18年度	平成19年度	平成20年度
学生生徒等納付金収入	1,633,881	1,700,777	1,701,558	人件費支出	914,589	970,971	1,008,091
手数料収入	49,904	42,190	34,536	教育研究経費支出	308,507	352,942	341,053
寄付金収入	1,120	200	200	管理経費支出	137,468	146,304	134,511
補助金収入	114,255	169,916	157,674	施設関係支出	851,300	11,440	3,399
資産運用収入	7,268	16,247	21,319	設備関係支出	117,710	30,888	16,131
資産売却収入	262	0	0	資産運用支出	0	0	98,000
事業収入	1,991	2,941	3,191	その他の支出	73,509	53,936	60,917
雑収入	20,260	17,892	15,620	資金支出調整勘定	46,105	52,445	38,613
前受金収入	555,825	531,197	499,270				
その他の収入	56,156	24,309	13,453				
資金収入調整勘定	561,544	569,776	540,702				
前年度繰越支払資金	3,891,655	3,414,055	3,835,912	次年度繰越支払資金	3,414,055	3,835,912	4,118,542
収入の部合計	5,771,033	5,349,948	5,742,031	支出の部合計	5,771,033	5,349,948	5,742,031